

令和3年度第1回浦安市行政改革推進委員会 会議録

○日 時／令和3年9月1日(水) 10:30 ～ 11:40

○場 所／リモート開催(事務局及び傍聴人は市役所4階 S6会議室)

○出席者／寺村会長、深谷副会長、李委員、齊藤委員、根津委員、岩田委員、染谷委員、白木委員

○事務局／橋野総務部長、内田総務部次長、宇田川行政改革推進室長、久木副主査、腰塚主任主事

○議 題／・浦安市行政運営刷新計画について
・令和3年度の事務事業の見直しについて

1 開会

2 議題

(1) 浦安市行政運営刷新計画について

市では、令和2年度の修正内容を踏まえ行政改革の視点から市が取り組むべき事項を改革項目として位置付け「重点事項別改革項目一覧(案)」を作成したことから、当該項目の検討経緯や今後の取り組みについて事務局より説明を行った。

委 員： このように具体的な改革項目は必要だと思う。これらは現在進捗しているものと新しいものとで分けて記載していくのか。

事務局： 全体で進めていく予定である。このシートは、今回掲げた改革項目が着実に実施されるよう進行管理を行うことを目的としている。

委 員： コロナ禍で社会全体が困難な状況であるが、資金を生み出す仕組みがあれば新しい事業や商品が生み出せる。市が考えるクラウドファンディングとは資金調達と市民ニーズと、どちらに重点を置くのか。

事務局： 市民ニーズを視野に検討していきたい。現在、詳細については、企画部において先進事例を視察するなど検討を行っている。

委 員： コロナ禍で市のイベントは軒並み中止となっている。使用しなかった予算はどのようなになっているのか。また、新たな財源の一つとしてクラウドファン

ディングと同様に市債の発行についてどのように考えているのか。

事務局： 使用しなかった予算は、コロナ対策等の財源確保のため適宜減額補正を行っている。市債の考え方については、財政部署に確認し改めて連絡させていただきたい。

委員： 新たな財源として具体的にはどのようなものを検討しているのか。

事務局： 検討段階ではあるが、公共施設駐車場の有料化などを予定している。

委員： デジタル化に関する項目は良いと思う。しかし、デジタル化の流れは早いことから3～4年の計画を1～2年で実施する必要性も想定される。今回のシートにおいて期間の短縮は可能と考えてよいか。

事務局： 進行管理していく中で、計画を短縮していくことも考えられる。

委員： 改革項目の考え方や方向性は良いと思う。クラウドファンディングについて具体的にはどのようなものを検討しているのか。行政としてSDGsに関連したものも選択肢の一つではないか。

事務局： クラウドファンディングについては、市民の皆さんの共感が得られなければ成り立たないものと認識している。全庁的にどのような事業が対象となるのか検討中であるが、委員の皆さんから先進的な取り組みやアイデアについてご助言をいただきたい。

委員： カーボンニュートラルという考え方がある。中長期的な取り組みだが、二酸化炭素排出量を減らす取り組みや環境保全に投資することで地域貢献に繋がる。また、この投資によって地域振興や地域経済の発展も期待できると言われている。

事務局： 本市はゼロカーボンシティを表明している。いただいた貴重なご意見は参考とさせていただきます。

委員： 駐車場の有料化はどこから始めるか。公共施設と言っても健康センターのように市民の健康のために利用する施設や総合体育館のように余暇に利用する施設など性質は様々である。有料化は必要だと思うが、導入する順番については十分検討していただきたい。

事務局： まずは大規模な公園など設備が整っている箇所を対象に検討事項となっているが、いただいた貴重なご意見は参考とさせていただきたい。

委員： ふるさと納税とクラウドファンディングは性質が異なる。ふるさと納税は返礼品の充実を図ることが必要である。駐車場の有料化は立地条件が異なることから、一律ではなく段階的な導入が望ましい。

委員： オリンピック・パラリンピックの開催地を中心に開催後のレガシーが求められている。浦安市では特にパラリンピックに着目し、駐車場有料化で生み出された資金を活用して、障がいのある方に利用しやすい駐車場を整備するなど、レガシーやSDGsに関連付けていく仕組みが大切である。

委員： ふるさと納税やクラウドファンディングなど新たな財源については、資金を集めることだけでなく、浦安市としてのメッセージを込めることが大切だと考える。

事務局： 新たな財源について、いただいた貴重なご意見は参考とさせていただき、担当部署に繋げていきたい。

(2) 令和3年度の事務事業の見直しについて

厳しい財政状況に直面している中、実施計画事業やコロナ対策事業の財源確保のため、市単独事業を中心とした事務事業の見直しについて事務局より説明を行った。

委員： コロナ禍で中止が続いている事業が多くあると思うが、本当に必要なものを検証できる機会であると思う。浦安市は恵まれた財政状況から、福祉サービスをはじめ様々な特色ある行政サービスを展開してきたと思う。しかしながら、この状況下においては、他市や市民ニーズを比較検討し、市単独事業を中心に見直す必要があると考える。

(その他事務連絡)

本日のリモート会議については背景画面を工夫させていただいた。会議の形式については今後も改善していきたいと考えている。次回の会議の開催については、事務局より改めてご連絡させていただく。

3 閉会

(11時40分終了)